

「市長と地域ふれあいトーク」を実施

お問い合わせ
広報広聴課 ☎22-7438



6月30日、市長は草野グリーンファーム（小川町）を視察し、葉ネギ栽培の説明を受けました。小川支所では、小川地域振興協議会の皆さんと懇談し、協議会会員の若手農業者の方などから農作物の生産状況等の説明を受け、農業による小川町の地域振興などについて話し合いました。

また、同日、市長はNPO法人小さな拠点おおかの皆さんと懇談し、川前町の高齢者等が将来にわたり安心して暮らし続けるためのコミュニティカフェや有償旅客運送などの今後の活動予定について話し合いました。



▲草野グリーンファームを視察



▲NPO法人小さな拠点おおかの皆さんと市長



▲小川地域振興協議会の皆さんと市長

市議会 6月定例会を開催

お問い合わせ
総務課 ☎22-7438

いわき市議会6月定例会が、6月1日から15日までの15日間の会期で開催されました。議会では、補正予算などが審議され、24議案が可決・同意されました。

市長からの行政報告

○2つの「エフ」が大きなチャンスに

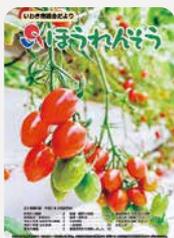
魅力的な新規産業を生み出す「福島国際研究教育機構（通称F-REI）」と、数千人規模の若者や子育て世代を動かす本市のこれまでの歴史になかったコンテンツである「いわきFC」を若者の還流につなげていくと述べました。

○新型コロナウイルス感染症への対応状況

5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行し、感染者数が週1回の定点把握に変更となったほか、医療費が治療薬の費用などを除き原則自己負担になったことや入院調整が医療機関同士で行われるようになるといったさまざまな見直しについて報告しました。



▲アロハシャツを着用し、行政報告をする市長



議会だより『ほうれんそう』

市議会では、市民の皆さんに議会の活動についてご理解いただくことを目的に、定例会終了後および改選・委員会構成替え後に、議会だより『ほうれんそう』を発行しています。市議会ホームページではバックナンバーを見ることができます。

詳しくは、議会事務局（☎22-7535）へお問い合わせください。



間違い119番、急増しています！

お問い合わせ
消防本部指令課 ☎22-0123



いわき市消防です！
・・・もしもっしっ！
大丈夫ですか！？

ご存じですか？

最新のスマートフォンなどには、激しい衝撃を検知すると、自動で119番につながる緊急通報機能が搭載されていて、スマートフォンの落下などによる誤通報が確認されています。

また、最近では「Android (アンドロイド) スマートフォン」からの「いつの間にか119番通報」が増えています。その原因は『カバンなどの中で何かがスマートフォンの画面やボタンに触れてしまったり、音量ボタンと間違えて押しちゃったりして発信されてしまう』場合がほとんどです。

私たち一人一人ができること

スマートフォンの緊急通報機能設定・操作方法を確認しましょう。
※操作方法が分からない場合は、お近くのケータイショップへ



「いつの間にか119番通報」してしまった場合、電話を切らずに「間違いでした、救急車・消防車は必要ありません」と伝えてください。電話を切っても、すぐに消防機関から折り返しの電話が来るので同様に对应してください。
※折り返しの電話に出ないことで、救急車や消防車が出動する場合があります。

第40回全日本級別サーフィン選手権大会

大会公式
ホームページ▶



6月21日から4日間、四倉海岸で全日本級別サーフィン選手権大会が開催され、全国から600人以上のサーファーが集結しました。

初日は天候にも恵まれ、ビッグウエーブを乗りこなす選手たちの姿は迫力満点でした！



海水浴場海開き式

お問い合わせ
観光振興課 ☎22-7480

7月15日に四倉海水浴場で海開き式が開催され、海の安全祈願などが行われました。

- 開設期間 / 7月15日(土)～8月15日(火) <32日間>
- 開設時間 / 9時～16時
- 開設する海水浴場 / 勿来海水浴場、薄磯海水浴場、四倉海水浴場、久之浜・波立海水浴場

写真は第11回フラガールズ甲子園 (8月20日開催予定) 出場校の皆さんです。



写真が語る「いわき」の歴史

模擬原爆が落とされた学校

昭和20(1945)年8月、広島と長崎に原子爆弾が落とされる前、アメリカ軍は模擬原爆をもって原爆投下の訓練を繰り返し、その数は18都府県で49発に及んでいました。アメリカ軍の報告では、3発がいわき地方に落とされたことと記録されています。

米国戦略爆撃調査団(USSBS)の文書の「損害評価報告書」には「4棟の兵舎のような建物を破壊した」と報告されています。原爆投下部隊の空撮写真に付された平第一国民学校(平第一小学校)を囲んだ丸印の赤い破線の脇に表記された「Bar racks Area Taira(平の兵舎地域)」の文字に情報の不確実性が見えます。

どうして誤認したのかは明らかではありません。当日は新潟県長岡市の工場に対し、4機に命令が出されましたが、雲がかかってどの機も投弾できず、帰りに際に臨機で目標を攻撃したものと考えられます。その一つが平第一国民学校(平第一小学校)でした。つまり、帰途に行った「演習」のようなものだったのでしょうか。

残る1か所は、高久村大字下高久字

小鍛治の新堤溜池付近に落とされたことが判明しましたが、もう1発は確認できていません(記録では平鯨岡付近)。

模擬原爆が落とされた平第一国民学校(平第一小学校)は、PTAや関係者に働きかけ、亡くなった校長や教師の殉職碑を、昭和30(1955)年7月に建てました。除幕式は被災日に行われ、以後、鎮魂祭が今日に至るまで継続されています。

(いわき地域学會 小宅幸一)



模擬原爆で犠牲になった殉職教員の冥福を祈る「鎮魂の儀」・平第一小学校
[平成29(2017)年7月 いわき民報社撮影]